

ARES 許諾キーについて

- ◆ 許諾キーは、納品されます【ライセンス証書】に掲載されておりますので大切に保管ください。

製品をインストール後、アクティベーションする際に使用します。
ご使用中のライセンスを管理するために必要なキーとなります。
メンテナンスの更新等 ご注文時にご提示が必要となる場合があります。

- ◆ ARESにおいては "複数キー"と"単一キー"の2種類があります。

2ライセンス以上を購入される場合はどちらかの選択が必要です。(ネットワーク版は除く)
"許諾キー比較"の内容をよくご理解いただいた上でキーをご選択ください。



許諾キー比較

許諾キー	単一キー	複数キー
対象	スタンドアロン版・ネットワーク版・フレックスクラウド版(※1をご覧ください)	スタンドアロン版
特徴	複数のライセンスを1つのキーで管理 例)3ライセンス購入⇒1つのキーを発行	ライセンス数と同数のキーで管理 例)3ライセンス購入⇒3つのキーを発行
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 管理者は使用したい利用者にキーを自由に割り振ることが可能 例)使用者が限定されていない場合 ARESのセットアップ時は1つのキーだけで設定できるので便利。(組織の活用) 詳細は インストールガイド *組織の作成を参照 管理者はライセンス数が多い場合でも管理が容易 例)管理担当者は管理台数が多くなっても、各部門にサブリーダーをおいて管理する事ができる 会社全体の棚卸の際に便利。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のキーを各担当(使用者)に割りあてられる。(キーと使用者を1対1で管理できる) 例)使用者が限定されている場合 使用者自身でキーの管理が可能。(例:メンテナンス更新等) メンテナンスの更新やアップグレード等は、必要本数のみが可能。 例)ライセンスが1個単位のキーで管理されているため
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス更新等は、キーが保有するライセンス数単位でのオーダーが必須 一部のライセンスのみの更新・アップグレード等は不可 ※2 例)10ライセンスを単一キーで使用。次年度は5ライセンスのみメンテナンス更新 ⇒ 不可 単一キー発行後、キーの分割は不可 例)10ライセンスを1つのキーで使用 = 管理上 5ライセンスずつ2つのキーに分けたい ⇒ 不可 	<ul style="list-style-type: none"> 1ライセンス=1キーで管理となるため、管理者の負担が大きくなる場合がある。 例1)特にキーの個数が多い場合は、メンテナンス更新漏れの可能性が大きい 例2)複数のキーを管理する部署や担当者がある場合、各使用者自身が更新等を実行するケースが発生する 例3)会社全体の棚卸が煩雑になる。 複数キー発行後、単一キーへの変更は不可(キーの統合) 例)10ライセンスを複数のキーで使用=1つのキーで管理したい
任意選択(オプション)※2 ・スタンドアロン版のみ対応可能	<ul style="list-style-type: none"> 購入時にキーを先に分けておく(単一キーを2個以上で管理) 例)10ライセンスを5ライセンスずつに分けて2つの単一キーを発行 ⇒ 単一キーA(5ライセンス) 単一キーB(5ライセンス)計2個 購入後はキーの分割ができないため 	・対象外
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク版・フレックスクラウド版は単一キーにて発行 (※1) 新規購入時 1Key(3ライセンス以上)必須 メンテナンス契約期間(終了日)はキー単位で設定・管理 例)10ライセンスを1つのキーで使用=10ライセンスのメンテナンス終了日はすべて同日 ライセンスの追加購入の場合、既存のキーへの追加は不可 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク版・フレックスクラウド版は複数キーの選択は不可 メンテナンス契約期間(終了日)は個々のキーで管理 例)10ライセンスを10個のキーで使用= 購入日等が異なると同日ではない場合がある ライセンスの追加購入の場合、既存のキーへの追加は不可

※本紙に記載された内容は、改良のため予告なく変更させていただく場合があります。

2024/4/1
更新版